

図書館だより

第18号

H. 10. 6. 15 神戸大学附属図書館医学部分館

新しいライブラリーと現実の問題

附属図書館長 小林哲夫

大学図書館は、マルチメディア時代を迎えて新たな機能展開が可能な環境に置かれている一方、従来からの問題を未解決のまま抱え込んでいるように思われます。革新的な情報技術によってさまざまな学術情報が組織の境界あるいは国境も関係なくボーダーレスに発信・受信できるようになっていますが、それは、ライブラリーの機能を大きく変える可能性を持っています。他方、各大学は蔵書や学習・閲覧のスペース、スタッフの人員、運営経費などの問題に悩まされています。これらの可能性と現実の問題は本学の図書館にもそのまま当てはまるといえるでしょう。

最新のニュースとして、補正予算案のなかに本学附属図書館の電子図書館システムの要求が組み込まれたことが伝えられています。電子図書館といっても、まだはっきりした姿が決まっているのではなく、実験的な試みとして展開されている段階です。抽象的にいえば、拠点図書館がさまざまな学術情報を電子データベース化して国内国外に対して発信したり、受け取った情報を広範なユーザーに配信するものです。具体的には、京大、筑波大など図書館ホームページをご覧いただくと、少しイメージが進むと思いますが、予算が通れば、これらの先進校の開発状況も参考にしながら、本学でも、今年度中にシステムを立ち上げる予定を立てています。もしそうなれば、予算は継続するものなので、長期的には期待していただけるものに育っていくと思っています。

しかし、このように夢を広げていく一方で、従来から山積している諸問題を解決していかなければなりません。例えば、全学での蔵書数は約260万冊であるのに対して、収容可能数は約185万冊であり、もうすでに能力を遙かに超えた状況にあります。今後、蔵書数はますます増加して行くわけですから、何か手を打たなければ、数十年後は学内は本で埋まっているかも知れません。これは、解決すべき問題の1例に過ぎません。多くの困難な問題を解決するには、素晴らしい知恵とともに、物的な施設と人的な資源が必要です。電子図書館は、ある意味で、バーチャル・ライブラリーといえるものですが、これも物的・人的なリソースがなければ育てていくことはできないでしょう。

幸い、医学部分館は、新築された医学部共通棟のなかに場所を移すとともに、新しい機能も幾分かは取り込むことができましたが、保健学科の名谷分室とともに、医学の教育・研究を支援するには、学外の利用者を含む広範なユーザーのためにさらにその機能を充実させていかなければなりません。医学部の図書館を良くするには、医学部独自の創意工夫が大切です。しかしそれと同時に、全学の図書館が進んでいく方向についても理解していただく必要があり、その意味で上のことを書かせていただきました。終わりになりますが、いつもご助言をいただいております、分館長の住野先生、図書館運営委員の内山先生、図書館の企画開発室委員をお願いしている江原先生、その他スタッフの方々に厚くお礼を申し上げます。

Journal Citation Reports on CD-ROM

1998年5月より提供開始

医学部図書館では5月から、Journal Citation Reports (JCR) on CD-ROM. Science edition を1階カウンター前パソコンで提供しています。

このJCRは、学術雑誌の文献間の引用・被引用関係を分析したもので、これを利用することにより、学術雑誌間の相互関係や、その影響力を知り評価することができます。また、これにより得られたデータは、雑誌に論文を投稿する際の参考としても用いられます。JCRは Science Citation Index を刊行してきた ISI 社により1975年に創刊され、1994年版からCD-ROM版が発売されるようになりました。現在の Science edition では約4700誌の自然科学分野の雑誌データが含まれています。

医学部図書館では、これまでマイクロフィッシュ版を印刷したものを提供していましたが、今回から購入を始めたCD-ROM版には、マイクロフィッシュ版にはなかった便利な機能も含まれています。そこで、JCR on CD-ROMからどのような情報を得ることができるのか、またその機能についてご説明します。

まずはじめに JCR データベースを開くと、収録されている雑誌のデータが雑誌名のアルファベット順に表示された Journal Rankings Window が現れます。ここでは次のようなデータを得ることができます。

The screenshot shows a window titled "Journal Citation Reports - 1996 Science Edition" with a menu bar (File, Edit, View, Calculations, Options, Help) and a toolbar. The main area displays a "Journal Rankings" window with a table of journal data. At the bottom, there are controls for sorting and filtering.

Mark	Rank	Journal Abbreviation	ISSN	1996 Total Cites	Impact Factor	Immediacy Index	1996 Cited Articles	Half-life
1		AAPC BULL	0149-1423	3804	1.422	0.143	91	> 10.0
2		ABDOM IMAGING	0942-8925	301	0.733	0.071	112	2.5
3		ABH MATH SEM HAMBURG	0025-5858	193	0.212	0.042	24	> 10.0
4		ACAD MED	1040-2446	1878	1.101	0.348	273	3.8
5		ACAROLOGIA	0044-586X	212	0.264	0.088	34	> 10.0
6		ACCOUNTS CHEM RES	0001-4842	10672	10.546	2.901	71	8.1
7		ACH-MODELS CHEM	1217-8969	28	0.197	0.000	19	
8		ACI MATER J	0889-325X	411	0.417	0.056	72	5.2
9		ACI STRUCT J	0889-3241	278	0.361	0.186	70	5.2
10		ACM COMPUT SURV	0360-0300	457	0.441	0.000	95	> 10.0
11		ACM T COMPUT SYST	0734-2071	438	1.174	0.462	13	8.1
12		ACM T DATABASE SYST	0362-5915	603	0.679	0.182	11	> 10.0
13		ACM T GRAPHIC	0730-0301	283	0.733	0.133	15	7.8
14		ACM T INFORM SYST	1046-8188	337	0.971	0.133	15	7.4
15		ACM T MATH SOFTWARE	0098-3500	902	0.695	0.152	33	> 10.0
16		ACM T PROGR LANG SYS	0164-0925	533	0.733	0.111	27	8.5

Sort: Journal Abbreviation Filter: All Journals 4779 Journals 0 marked

- Total Cites (年間総被引用回数): その雑誌の論文が1年間に引用された総回数。これにより最もよく引用される雑誌が何であるか知ることができます。
- Impact Factor (文献引用影響率): 1論文あたりの引用回数の平均値を計算することにより、雑誌の発行形態や発行の規模の違いに関わりなくその雑誌の影響力や重要度がわかります。次の計算式で算出されます。

$$\text{インパクトファクター} = \frac{\text{その雑誌に掲載された論文が、掲載後2年間に引用された回数}}{\text{その2年間に掲載された総論文数}}$$

- Immediacy Index (即時性指数): その年に発行された当該雑誌に掲載された総論文数で、その雑誌に掲載された論文が同年中に引用された回数を割った値で、この値の大きい雑誌はニュース性が高い雑誌であるといえます。
- Total Articles (年間総論文数): 1年間にその雑誌に掲載された論文数。
- Cited Half-Life (被引用半減期): 過去に遡り、被引用数の累積が全被引用数の50パーセントになる年数。

JCR on CD-ROM では、この Journal Rankings Window に表示されている基本データを用いて加工し、目的に合ったランキングリストを作成することのできる機能があり、またさらに詳しいデータを得ることもできます。画面上のツールのボタンをクリックすることにより、次のような機能を使用できます。



- ① Save: 表示されているデータをダウンロードできます。ファイル名の欄にフロッピーディスクドライブの「c:」を指定して下さい。
- ② Move to: 雑誌をタイトルにより検索できます。
- ③ Publisher information: その雑誌を発行している出版社と雑誌の情報を知ることができます。
- ④ Citing journals: その雑誌が引用した雑誌と1年毎の引用回数が、回数の多い順に表示されます。
- ⑤ Cited journals: その雑誌を引用した雑誌と1年毎の被引用回数が、回数の多い順に表示されます。
- ⑥ Source data: 各雑誌に掲載された論文数と、その中のレビュー論文の数、およびその論文から引用された論文数がわかります。
- ⑦ Sort: 雑誌タイトル、Total Cites、Impact Factor、Immediacy Index、Total Articles、Cited Half-Life の各項目により雑誌データを並べ替えることができます。
- ⑧ Filter: 雑誌データを分野、出版社、出版国により抽出することができます。また Journal Rankings Window において、Mark 欄をクリックすることで雑誌を選択したうえで、Mark した雑誌データのみを取り出せます。

このように、JCR on CD-ROM によって各種のデータを知ることができますが、ここで得られた雑誌のランキングを雑誌の評価に用いるときに留意しなければいけない点があります。

- レビュー誌はその性格から当然、引用されることが多くなります。Impact Factor で雑誌を比較する場合、レビュー誌と論文誌を区別する必要があるれば、Source Data Listing が参考になります。
- 収録されている雑誌はアメリカで出版されているものが多く、引用関係においてもアメリカのものにかたよる傾向があります。もちろん、英語以外の言語で書かれた論文より、英語論文のほうが引用され易くなります。
- JCRでは引用関係の分析により客観的なデータを提供していますが、その値が高いことと、その雑誌が重要であることとは、必ずしも一致しません。一般的な科学雑誌は、多く読まれてはいても、それほど引用されることはないと考えられます。

以上、JCR on CD-ROM の内容と機能について簡単にご説明しました。医学部図書館では、この JCR on CD-ROM を利用者の方々の研究活動に役立てていただけるよう期待しています。多くのご利用をお待ちしております。

J C R on C D - R O M

説明会を開催いたします。

今回ご紹介しました JCR on CD-ROM を皆様により良く活用していただくため、説明会を下記の通り開催いたします。
参加は全く自由です。どうぞ、奮ってご参加下さい。

日時： 7月2日（木） 午後3時～
場所： 附属図書館医学部分館3階会議室
（図書館入口横からお入り下さい。）
講師： I S I ジャパン、 棚橋 佳子 氏

《 特別利用のご案内 》

医学部分館では、時間外でも図書館の資料を自由に利用できる24時間システムの特別利用を運用しています。

この特別利用は、医学部所属の教職員及び大学院生以上を主な対象としており、ご利用にあたっては講習会の受講が必要になります。そこで、今春より新規に赴任、又は、在籍されました方々に講習会のご案内をいたします。

次回講習会 7月14日（火）15：00～（40分程度）

- 講習会終了後図書館「時間外入館カード」をお渡しいたします。
- お申込みは、医学部図書館カウンターまで（申込み多数の場合は臨時日設定）

☆☆☆ 特別利用での複写機使用上のご注意 ☆☆☆

図書館内の複写機ご利用の際は「文献複写申込用紙」に必ずご記入をお願いします。

人事異動について

医学部分館に下記の異動がありましたのでお知らせします。

・異動

4月1日付 着任

篠栗伸一 サービス第四掛（自然系図書館リ）

足立恵美子 情報技術掛（ " ）

<他館へ>

室屋則茂 サービス第一掛（人社系図書館へ）

・退職

神垣智佐子 3月30日付 退職